

2020～2021 年度
週報



R I 会長 ホルガー・クナーク
R I テーマ 『ロータリーは機会の扉を開く』
地区ガバナー 相原 茂吉
地区テーマ 『Let's make fellows!』『友達をつくろう!』



国際ロータリー
第2570地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 ニックス 〒350-1305 狭山市入間川4-25-3 TEL 04-2954-9595

〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366

HP : <https://www.schuohrc.org> E-mail : schuohrc@pl.s-cat.ne.jp

会長 柴田讓 会長エクト 菊田邦彦 副会長 寶積英彦 幹事 佐々木康

[第3グループ 例会日: 新狭山 入間 入間南 飯能 日高 狭山中央 所沢 新所沢 所沢西 所沢東 所沢中央]

第1269回 (5月21日) 例会の記録

点 鐘 柴田讓会長
合 唱 我らの生業
第2副SAA 東会員 江原会員

出席報告 出席向上委員会 < 小幡直樹 委員長 >

会員数	出席者数	出席率
23名	16名	88.89 %

パスト会長の時間



若松 泰誼 パスト会長
2012-2013 年度(第20期)

【 私の生業 】

皆さん、今日は久しぶりに人前での話で大変緊張しています。宜しくお願い致します。
何を話そうか大分悩みましたが、自分の事で良いかと思い、「私の生業」として話をさせていただきます。

私共の会社は現在国内に2法人、海外(タイ国)に1法人を営業しております。一番古いのが大星電機(株)で1972年の創立、来年が2022年ですので年が明けると創立50周年という節目の年を迎える事になります。

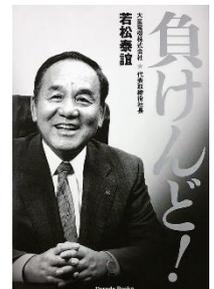
私は創立30周年の式典において、社員の皆さんに「会社は頑張っていれば30周年は迎えられる。更に40周年、50周年と向う為には、会社の方向性を思い切って変えないといつの間にか消える運命になる」という話を話し、変化することを図りました。

創立40周年の式典においては「40周年は通り道である。しっかりと技術の上積みを図り、全員で50周年を目指そう」という話をしました。

くしくもその頃、社内の技術史を作ろうという話が起りましたが、全て最終的に社長である私に確認しなくてはならず、それだったら社長に自叙伝を書いてもらおうとなりまして「負けんど!」という自叙伝を書きました。

私は大分前から70歳になったら社長を引退しようと思っていました。息子に後をお願いしようと思っていましたのでその話をしたところ、息子から「後5年頑張りたい、その替わりタイ国に会社を出したい。5年の間に目鼻を立てて来るから、そうしたら会社を譲りたい。」と言われました。そして5年目、見事に単年度黒字化を図ってくれました。私も約束どおり75歳で社長引退となり現在会長をやっておりますが、当然の事ながら50周年式典は現社長が執り行い、私は後方支援となりますが嬉しい限りであります。

私は現在77歳でもうすぐ78歳。
引退してから会社もたまにしか行かないので、これ



からの生活の在り方を考えてみました。
引退して周りを見たら、仕事を通した友人は大勢いましたが、近所がない。今までお付き合いを女房任せでしたので、これではいけないと努力した結果、いつでも飲める仲間が何人か出来ました。
後運動不足対策、これも近所にウォーキングを趣味と言うより生活の一部にしているご夫婦がいて、ご主人の方が高校時代の同級生、有り難い事に雨でも降らない限り毎日お誘いを頂いて、お陰様でゴルフが歩いてラウンド出来るようになりました。(本当に有難い) 友人に「継続は力なり」と笑われました。

何ヶ月か前、「徹子の部屋」に前北海道知事の高橋はるみさんがゲストで来られ、徹子さんから「毎日どんな日々を…」と質問されました。
高橋さん曰く「老後のキョウヨウとキョウイク」をやっていますと言われました。
このキョウヨウは“今日は用がある” キョウイクは“今日は行く”という事で、周りの誘いに振り回されずに自分の意志で行動するという事 だそうです。
私もこの高橋はるみさんの教えを実行して、これからのライフワークに入れて行き、楽しい老後を送りたいと思っております。

幹事報告

〈 佐々木康 幹事 〉

- ・トナー生産中により事務局のコピー機を買替 (5月17日入替済)

ひまわり倶楽部こども食堂へ寄付 「じゃがいもの収穫」ご協力をお願い

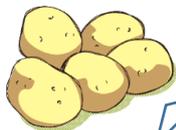
以下のとおり「じゃがいもの収穫」を実施いたします。今回は栗原成実会員のご厚意により、収穫したじゃがいもをその場で茹でて食べる“試食会”も予定しております。ご家族・お知り合いをお誘いの上是非ご参加ください。

ご参加頂ける方は、6月11日(金)までに事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

日時： 6月19日(土) 10:00より
(雨天の場合は6月20日(日))

場所： 栗原成実会員所有の畑

服装： 軍手・ゴム手・長靴があるとGOOD!
汚れてもいい服装で
マスク着用



回 覧

- ・日本のロータリー100周年を祝う会 オンライン視聴のご案内
- ・「例会変更のお知らせ」
所沢中央 RC
- ・「次年度役員・理事のお知らせ」
新所沢 RC 入間 RC 入間南 RC

委員会報告

- ・R情報・雑誌委員会 〈 沼崎正徳 委員長 〉
「ロータリーの友5月号」の紹介

【横組み】

- R I 会長メッセージ (P3)
- 青少年奉仕月間 (P7-15)
- バギオ基金 (P16-17)
- 侃侃諤諤 (P18-20)
- 視点 ガバナーのロータリー・モメント (P21-25)
- よねやまだより 米山から世界の町へ
ナイジェリア・ラゴス (P28-29)
- 大人の着こなし図鑑 (P30-31)
- 連載コミック
ポール・ハリスとロータリー (P33-39)

【縦組み】

- 子どもたちの健やかな心を育む (P4-8)
- この人訪ねて 潮田武彦さん (P9-12)
- 俳壇歌壇柳壇 (P14-15)
- 友愛の広場 (P16-19)
- ロータリーアットワーク (P20-27)

会員卓話

浜野 貴子 会員

私は長野県南安曇野郡豊科町(今は合併して安曇野市豊科町)で生まれました。

小学校は子供の足で片道ゆうに1時間、中学・高校は電車通学でしたが、駅までがまた遠く片道30分かかって通学していました。でも小・中・高とすぐく歩いてたお蔭で現在も丈夫でいられるのだと思います。
家が稲作農家でしたので、小学校から帰るとちやぶ台の上におにぎり(みそまぶし)とメモが置いてあり、弟と一緒ににおにぎりやおやつを食べて両親のいる田んぼに行って手伝ったり遊んだりしていました。田んぼに行かない時は、墓地の中でおにごっこやかくれんぼを



して遊んでお寺の和尚さんに叱られたり、学校に通報されて校長先生から叱られたりしました。

お米の収穫期に入ると忙しく、両親や祖母が田んぼから帰るのが暗くなってからでした。今のように稲刈りが機械化されていなかったため、すべて手で刈っていました。小学校の高学年になると、味噌汁やうどん、簡単なおかずを作って両親や祖母を待っているようになりました。その頃はプロパンガスがまだ引かれていなくて、米のみ殻を燃料にして煮炊きをしていました。台所の中に土間があって、その頃家では“ぬかくど”と呼んでいたのですが、大きなタンクにもみ殻を入れて、下の方から少しずつのみ殻を手で掻き出してくどの中にいれ、火をつけて煮炊きをしていました。今思うと、幼い子供が大人のいない所で火を扱ってよく火事を出さなかったと思いますが、その頃は当たり前だったのです。また、大人達は疲れて帰ってくるので、ご飯を作っておくと凄くほめてくれたので、それが嬉しくて続けていたように思います。です雨の日が待ち遠しかったです。雨が降ると農作業ができないので家族が家にいます。母が、お餅を小さいサイコロ状に切って干したのを油で揚げて醤油と砂糖で甘辛く味付けしたおかきを作ってくれて、それを食べるのが楽しみにでした。食生活はほとんど自給自足に近く、鶏の唐揚げなどは東京に出て初めて食べました。その頃はクジラの肉を焼いて食べるのがご馳走で、母がリンゴをすりおろして醤油と混ぜたタレを作り、それにつけて食べるクジラの肉はとて美味しかったです。また、クジラのベーコンに醤油をかけてご飯と食べるのが大好きでした。お祭りの時は、飼っていたニワトリを父がしめて、そのニワトリの肉とネギなどの野菜を煮てお客様に振る舞うのがご馳走でした。ただ、ニワトリのしめられる声がいやで押し入れに隠れて耳をふさいでいました。今思い出してもあの声はすごくいやです。高校は女子高に進学しました。その女子高の数学の先生が変わった先生で、授業中によく人生について話をしてくれました。その中で一番印象に残っているのは、「君たちは将来結婚して旦那さんに食べさせてもらおうと思っているかもしれないが大きな間違いだ。旦那さんが亡くなるかもしれないし、離婚するかもしれない。自分で食べていけるように用意をしておきなさい。何でも10年やればものになるから、頑張って10年はやり続けなさい。」と言われた事です。今から50年以上前は、女性は結婚して子供を産んで家庭に入り、良く妻良き母になるという良妻賢母が良しとされていたので、この先生の発言はとて新鮮でした。私は数学が苦手でしたがその先生はとて好きでした。しかし、最後まで数学の成績は悪いままでした。その後東京の短大に進みましたが、思春期に5年間も女子校で過ごすのは、経験上男性の見方が偏ってあまり良いとは思えません。男性を美化したり、自意識過剰になったり、相手を等身大の人間として見られないように思います。

会社は大正海上火災という三井系の損保会社に就職しました。(現三井住友海上火災) その頃高度経済成長がはじまっていて、私のような人間でも滑りこめたのだと思います。その会社の同期の友人とは今

でも交流が続いていて、海外旅行したり都内で食事をしたりするなど、とても大事な友人となっています。夫とは、高校時代の友人が東京で大学生と同棲をしていて、その大学生の友人を紹介してもらいました。4年程お付き合いをして結婚しました。

その後妊娠して会社を辞め家庭に入りました。本当は会社に勤め続けたかったのですが、私も夫も田舎が長野県で、夫の家はお風呂呂屋さんをやっている義母も働いていたので、子育てのサポートを頼める状況ではなかったのです。

そして、2人目の子供が1歳の頃、ノエビア化粧品の代理店の方が飛び込み営業で私の住む団地に訪問販売に来て、私もこの仕事をするきっかけになりました。先週大野会員が飛び込み営業の話をしていましたが、私が仕事を始めた40年前も飛び込み営業がメインでした。ノエビア創業者の大倉昊会長が、自分も仕事を始めた時、タッパーウェアの仕事をしている方に仕事のやり方を教わり、毎日日曜日も飛び込み営業をしたそうです。です雨の日が待ち遠しかったです。雨が降ると農作業ができないので家族が家にいます。母が、お餅を小さいサイコロ状に切って干したのを油で揚げて醤油と砂糖で甘辛く味付けしたおかきを作ってくれて、それを食べるのが楽しみにでした。食生活はほとんど自給自足に近く、鶏の唐揚げなどは東京に出て初めて食べました。その頃はクジラの肉を焼いて食べるのがご馳走で、母がリンゴをすりおろして醤油と混ぜたタレを作り、それにつけて食べるクジラの肉はとて美味しかったです。また、クジラのベーコンに醤油をかけてご飯と食べるのが大好きでした。お祭りの時は、飼っていたニワトリを父がしめて、そのニワトリの肉とネギなどの野菜を煮てお客様に振る舞うのがご馳走でした。ただ、ニワトリのしめられる声がいやで押し入れに隠れて耳をふさいでいました。今思い出してもあの声はすごくいやです。高校は女子高に進学しました。その女子高の数学の先生が変わった先生で、授業中によく人生について話をしてくれました。その中で一番印象に残っているのは、「君たちは将来結婚して旦那さんに食べさせてもらおうと思っているかもしれないが大きな間違いだ。旦那さんが亡くなるかもしれないし、離婚するかもしれない。自分で食べていけるように用意をしておきなさい。何でも10年やればものになるから、頑張って10年はやり続けなさい。」と言われた事です。今から50年以上前は、女性は結婚して子供を産んで家庭に入り、良く妻良き母になるという良妻賢母が良しとされていたので、この先生の発言はとて新鮮でした。私は数学が苦手でしたがその先生はとて好きでした。しかし、最後まで数学の成績は悪いままでした。その後東京の短大に進みましたが、思春期に5年間も女子校で過ごすのは、経験上男性の見方が偏ってあまり良いとは思えません。男性を美化したり、自意識過剰になったり、相手を等身大の人間として見られないように思います。

先日、テレビで認知症の研究をしている先生が、認知症にならない3つの事を話していました。

- ① 栄養バランスのとれた食事をする
特にたんぱく質を摂る
- ② 適度な運動をする
- ③ 社会性を持つ

なかでも最も大事なのは③で、ボランティアでも趣味でも何でもいいので、みずから社会と繋がりを持ってくださいと仰っていました。

私は12年前に夫に先立たれ、子供達も結婚して家を出ていますので一人暮らしです。私のような高齢の一人暮らしの老人は現在日本に6,274,000人いるそうです。これからもっと増えていくでしょう。

この頃自分の行く末をすごく考えるようになりました。それは今年の2月に弟が突然亡くなったことにあります。65歳でした。元気に暮らしているとばかり思って

いたので、突然知らせを受けた時は大変ショックでした。でも、弟のお嫁さんによると、昨年の12月頃から食事を摂らなくなり、1月頃からは衰弱してやっとヨーグルトが食べられるほどで、寝たきりの状態だったそうです。コロナの影響もありましたが、もともと病院に行きたがらず、その日はお嫁さんが用事で少し家を留守にして帰ってきたら息をしておいなかったそうです。そのような状況だったので警察が入り調べられました。結局自然死と結論付けられたそうです。

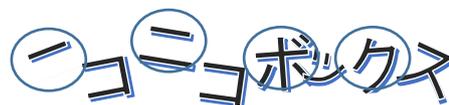
2月当時、長野県はコロナ感染者があまりいないので葬式に来ないでくれと言われ、弟に会えずとても辛く悲しかったです。弟はとてもおとなしい性格で、母が生前、私と性格が入れ替わったらよかったのと言っていたくらいでした。やはり弟はやりがいが無くなり、無気力になったのがいけなかったと思います。弟は60歳で郵便局を辞めてからは、テレビの前でゴロゴロしていたそうです。お酒もたばこもやめられなかったです。母が生きていた頃は、母を田んぼや病院に送り迎えしたりして、それなりにやることがあったのですが、母が亡くなって1周忌が過ぎたころから引き込みりのような生活になったそうです。自治会の仕事も人間関係でつまずきやめてしまったそうです。

現在私は、週6日朝9時半にサロンに出勤し掃除をしてオープンの準備をし、夕方6時まで働いています。超零細企業なので必要とされているのはありがたい事だと思っています。数字に追われるのはストレスですが、若い方とお話できるのは楽しいです。また、ノエビアの仕事の先輩で80歳近い方も現役で働いていますので勇気もらっています。生涯現役で働ける仕事につけたのはとても幸せだと思います。

皆さんはスーパーボランティアの尾畑春夫さんを知っていらっしゃるでしょうか？ 行方不明になった3歳の子を発見した方で、オリンピックの聖火ランナーもつとめていました。現在81歳だそうです。

尾畑さんは魚屋さんのかたわら、51歳から趣味で登山を始め、同時に由布院の登山道の整備をボランティアで始めました。現在も朝4時に起きて40キロの整備道具を背負い、6時間かけて現場に行き作業をして帰って来る日常を続けているそうです。そして65歳で魚屋の仕事を引退して、災害ボランティアの活動を始めたそうです。2004年に発生した新潟中越地震をはじめ、その後も2011年の東日本大震災には南三陸町へ行き、500日車中泊をしながら活動を続けたそうです。ボランティアをし続けるための体力をつける為、毎朝8キロのジョギングをして、生計は年金だけなので、ボランティアに行く資金の為節約していました。洗濯機もなく足で踏んで洗濯、食事は家の敷地内で採れるタンポポなどを茹でて食べる。。。等々、ここまでするのかと尊敬しました。

尾畑さんのようににはできませんが、私も**人生100年と言われる現在、できるだけ健康年齢を上げて生きがいを持って生活したい**と思います。



柴田君 本日はパスト会長の時間「若松パスト会長」宜しくお願いします。楽しみにしております

佐々木君 天候不順な日がつづき、コロナとWで気分が沈んでしまっていますが、秋に美味しいお米を食べるための雨だと思い、気分をもりあげたいと思います。本日の会員卓話 浜野さん、楽しみにしていました。よろしくお願い致します。

江原君 本日の会長の時間は若松パスト会長、卓話の時間は浜野会員の会員卓話と豪華ですね。御二人のお話し楽しみにしております。宜しく御願い致します。

浜野君 パスト会長の時間、若松パスト会長のお話しを楽しみにしていました。宜しく御願い致します。本日会員卓話をさせて頂きます。宜しく御願い致します。

稲見君 若松P会長の会長の時間、浜野会員、今日の卓話楽しみです。

菊田君 若松パスト会長、今日は熟練したお話しを期待してます。ぜひたのしい話題をよろしく!!又、浜野様会員卓話たのしみしております。マイさん、コロナまんえんの中、毎回例会出席ありがとうございます。

小林君 今朝、保育園児達のかわいい声を耳にしてほっこりした心持になりました。おそば屋さんとラーメン屋さんの前で、先生と園児が「おそばがいい？ラーメンがいい？」と話し合っていました。本日のパスト会長の時間、若松P会長お話し楽しみにしていました。会員卓話浜野さん、おつかれ様です。

小島君 本日はパスト会長の時間 若松パスト会長、会員卓話 浜野会員、お話し楽しみにしていました。

沼崎君 若松パスト会長、お話し待っていました。自叙伝“負けんど”読みました。コロナに負けてはいけません！

田端君 若松パスト会長、本日どうぞよろしく御願い申し上げます。会員卓話浜野様、楽しみにしておりました。ありがとうございます。

若松君 今日は貴重な時間を頂きありがとうございます。浜野会員の卓話楽しみにしていました。頑張ってください。

◆ 次の例会 ◆

6月11日(金)

第2副SAA：小林会員 栗原会員
DVD鑑賞「狭山中央RCの歴史」

6月18日(金)

第2副SAA：宮岡会員 守屋会員
クラブ協議会(退任挨拶)